

目次

[概要](#)

[背景説明](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

この資料は Telnet のデバイスアクセスまたはバーチャルルーティングおよびフォワーディング (VRF) を渡るセキュア シェル (SSH) の設定を説明したものです。

背景説明

IP ベース コンピュータ ネットワークでは、ルーティング テーブルの多数の例が同一ルータの内で同時に共存するようにする VRF はテクノロジーです。ルーティング 例が独立しているため、同じまたは重複 IP アドレスは競合なしで互いに使用することができます。ネットワーク機能性はネットワーク 経路がマルチプルルータの要件なしでセグメント化することができるので改善されます。

VRF は転送情報ベース (FIB) として知られている個別のルーティング テーブルによってネットワークデバイスでルーティング 例ごとに 1 つ設定されるかもしれません。また、ネットワーク デバイスは各自に同じデバイスの他のどの仮想ルータ 例にとってアクセスが不可能である自身の FIB があるところで異なる仮想ルータを設定する機能があるかもしれません。

Telnet は仮想端末接続を使用して双方向対話型テキスト指向の通信機能を提供するのにインターネットかローカル エリア ネットワーク (LAN) で使用されるアプリケーションレイヤプロトコルです。ユーザのデータは伝送制御 プロトコル (TCP) 上の 8 ビット バイト指向データ接続の Telnet 制御情報との散在させていたインバンドです。

SSH は保護されていない ネットワークにオペレーティング ネットワークサービスのための安全に暗号ネットワークプロトコルです。最も最もよく知られたサンプル アプリケーションはユーザによって計算機 システムにリモート ログインのためです。

多くの場合これらのテクノロジーが併用されるとき特に非グローバル なルーティング VRF 例に属するインターフェイスを通してデバイスにリモートアクセスを試みることを試みるとき、混合を作成します。

このコンフィギュレーション ガイドは模範的な目的で管理アクセスの形式として Telnet をちょうど使用します。概念は SSH アクセスのために拡張であるも場合もあります。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

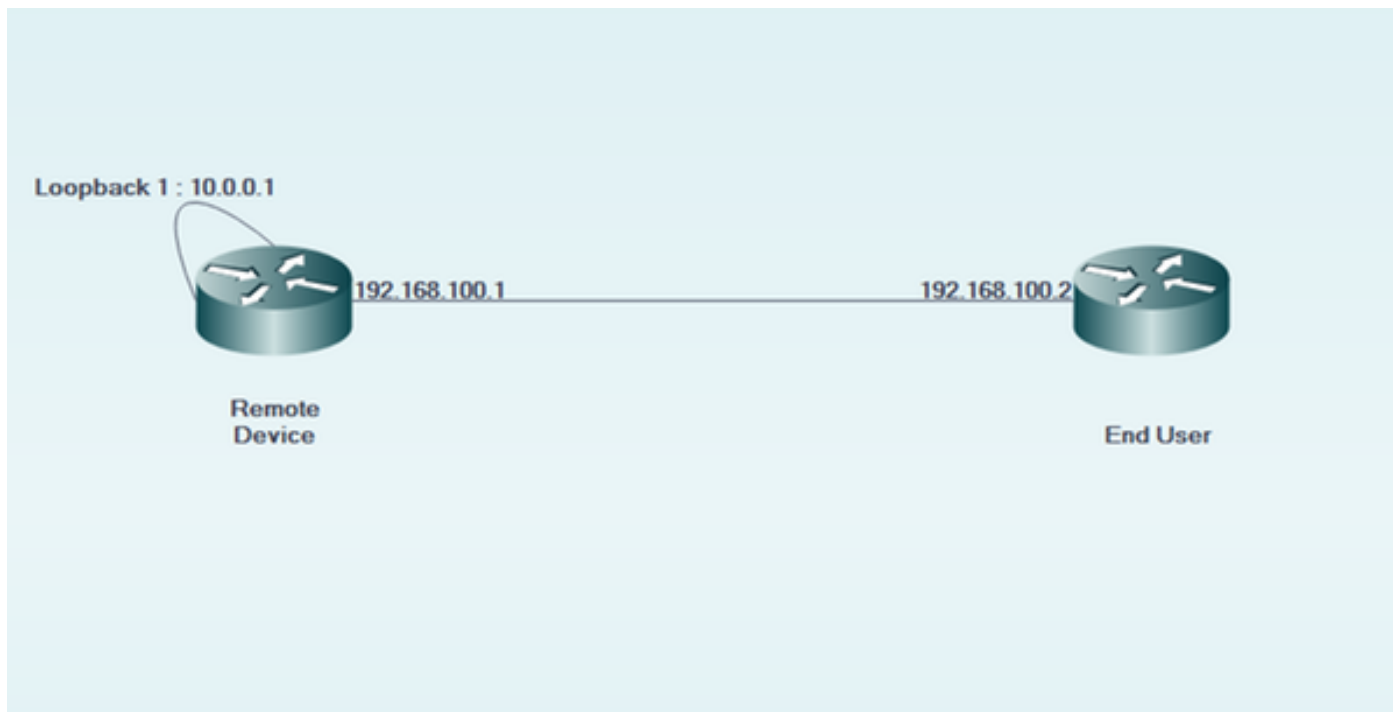
このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

注: VRF および Telnet の基本的な知識。ACL のナレッジはまた推奨されます。VRF の設定はデバイスおよびプラットフォームでサポートする必要があります。 Cisco IOS VRF ACL
Cisco

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークがライブである場合、あらゆるコマンドの潜在的影響を理解することをお勧めします。

設定

ネットワーク図



?

設定

リモートデバイス:

エンドユーザ:

確認

このセクションでは、設定が正常に機能していることを確認します。

VRFまたの前にキーワードはリモートデバイスの line vty 0 設定の 15 access-class で使用されま
す:

増加対応する ACE としてリモートデバイス増加のパケット ヒットは数えます。

ただし、VRFまたキーワードが line vty 0 の 15 access-class に追加された後、Telnetアクセスは
許可されます。

定義された動作によって、Cisco IOSデバイスはすべての VTY 接続をデフォルトで許可します。
ただし、access-class が使用されれば、想定は接続がグローバル IP 例からだけ着く必要があるこ
とです。ただしの対応した access-class 文と共に要件があり、VRF 例からの接続を許可するこ
とを望めば VRFまたキーワードを使用します
ラインコンフィギュレーション。

トラブルシューティング

このセクションでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報を提供します。

VRF によって基づくトラブルシューティングは時々必要とされるかもしれません。関連する イ
ンターフェイスが同じ VRF にすべてであり、同じ VRF 内の到達可能性があることを確認して下
さい。

また、関連した SSH および Telnet 関連トラブルシューティングは必要であるかもしれません。